

# 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させて  
 いただきたくご案内いたします。  
 何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

記

## ◆ 変更実施日

平成24年4月2日(月)ご依頼分より

## ◆ 変更項目

検査項目	17-KGS	尿中 型コラーゲン
	17-KGS2分画	アルブミン( Alb )
	絨毛性ゴナドトロピン( HCG )( CLEIA )	A / G比
	絨毛性ゴナドトロピン( HCG )( EIA )	アデノシンデアミナーゼ( ADA )
	麻疹ウイルスIgM( EIA )	尿酸( UA )
	インフルエンザウイルスRNA	アポリポ蛋白A- 、A- 、B、C- 、C- 、E
	HBs抗体( PA )	Ca( カルシウム )
	ITPA遺伝子多型解析	Mg( マグネシウム )
	淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	アルミニウム( Al )
	クラミジアトラコマチスDNA	EGR1 del( 5 )長腕欠失
	クラミジアトラコマチスrRNA	del( 1 )短腕欠失
	淋菌DNA	N-myc 2p24増幅
	淋菌rRNA	del( 19 )長腕欠失
	便中ヘリコバクターピロリ抗原	EWSR1 22q12転座
	不規則性抗体( 抗体同定・抗体価測定 )	WT1 mRNA定量
	血液型不適合妊娠	

# 変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
33	0829 6	17-KGS	備考	凍結保存は避けてください。 &C	&C	凍結不可注記の追加。
33	0830 6	17-KGS2分画	備考	凍結保存は避けてください。 &C	&C	
37	6144 6	絨毛性ゴナドトロピン (HCG) [CLEIA]	備考	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG- を認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。絨毛性疾患取り扱い規約第3版における推奨方法で、測定感度は1.0mIU/mLです。	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG- を認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。特に、高値が予測される場合、または子宮外妊娠など至急を要する測定にお勧めします。	最新版の絨毛性疾患取り扱い規約による情報内容に改めさせていただきます。
37	5202 1	絨毛性ゴナドトロピン (HCG) [EIA]	備考	本HCG-EIA検査はHCG鎖を認識するマウスモノクローナル抗体と、HCG鎖CTPを認識するマウスモノクローナル抗体によるサンドイッチ法により、インタクトHCGを測定しています。-CTPが欠損したHCGは測定できません。	インタクトのHCGを測定しています。抗体はHCG-CTPを認識しています。特に、低濃度域の測定にお勧めします。妊婦の場合は、妊娠週数を明記してください。	
52	5142 0	麻疹ウイルスIgM[EIA]	欄外	【麻疹ウイルスIgMの結果における注意事項】 伝染性紅斑(パルボウイルスB19感染) デング熱、突発性発疹(HHV6感染)などでも麻疹ウイルスIgMが陽性となる症例があることが報告されています。診断においては臨床症状および他の検査法を加味し、総合的に判断してください。		左記の麻疹の検査診断に関する試薬添付文書中の情報を総合検査案内に追加いたします。
58	2332 6	インフルエンザウイルスRNA	備考	咽頭ぬぐい液は凍結保存を避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
68	0367 5	HBs抗体	検査方法	PHA	PA	現試薬販売中止による測定試薬変更。および検査方法、基準値、その他検査方法参考文献等の変更。
			基準値(単位)	8未満(倍)	陰性(4未満)(倍)	
70(新規)	6414 1	ITPA遺伝子多型解析	備考	凍結保存は避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
72	6197 5	淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	備考	凍結保存は避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
72	2582 1	クラミジアトラコマチスDNA	備考	分泌物は凍結保存を避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。

# 変更一覧表

案内書 掲載頁	項 目 コードNo.	検 査 項 目	変更箇所	新	現	備 考
72	0307 2	クラミジアトラコマティス rRNA	備 考	<u>凍結保存は避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
72	2655 0	淋菌DNA	備 考	<u>分泌物は凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
72	0308 0	淋菌rRNA	備 考	<u>凍結保存は避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
74	2887 8	便中ヘリコバクター ピロリ抗原	備 考	<u>凍結保存は避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
82	0347 4	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定)	備 考	<u>血清 冷蔵</u> <u>血液 室温</u> (血液は変更ありません。)	血清 凍結 血液 室温	保存温度の再設定。
82	0344 2	血液型不適合妊娠	保 存	<u>血清 冷蔵</u> <u>血液 室温</u> (血液は変更ありません。)	血清 凍結 血液 室温	保存温度の再設定。
85	2495 4	尿中 型コラーゲン	備 考	<u>凍結保存は避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
90	5059 2	アルブミン( Alb )	検査方法	BCP改良法	BCG法	特異性の高い検査方法への変更。基準値、備考、その他検査方法参考文献の変更。
			基準値	3.8 ~ 5.2 g/dL	4.0 ~ 5.0 g/dL	
			備 考	ヒトアルブミンと特異性の高いBCPと反応させる方法です。	なし	
90	0382 0	A / G比	検査方法	BCP改良法/ Biuret法	BCG法/Biuret法	アルブミンの変更に伴う変更。
			基準値	1.1 ~ 2.1	1.2 ~ 2.0	
93	0996 6	アデノシンデアミナーゼ ( ADA )	測定場所	&ヨ( エスアールエル MUQSラボラトリー )	&K( ファルコバイオシステムズ )	測定実施場所の変更。その他、検査方法参考文献の変更。
94	0407 6	尿酸( UA )	備 考	<u>蓄尿は凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
102	0284 1	アポリポ蛋白 A-	備 考	アポリポ蛋白 Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。	なし	凍結不可注記の追加。

# 変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
102	0285 8	アポリポ蛋白 A-	備考	アポリポ蛋白 Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。	なし	凍結不可注記の追加。
102	0287 2	アポリポ蛋白 B	備考	凍結保存は避けてください。	なし	凍結不可注記の追加。
102	0288 0	アポリポ蛋白 C-	備考	アポリポ蛋白 Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。	なし	凍結不可注記の追加。
102	0245 6	アポリポ蛋白 C-	備考			
102	0290 7	アポリポ蛋白 E	備考			
105	0408 3	Ca(カルシウム)	備考	蓄尿は凍結保存を避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
105	0419 6	Mg(マグネシウム)	備考	蓄尿は凍結保存を避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
109	0970 1	アルミニウム(Al)	備考	e容器は凍結保存を避けてください。	なし	凍結不可注記の追加。
130 (新規)	6410 1	EGR1 del(5)長腕欠失	備考	凍結保存は避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
132 (新規)	6411 9	del(1)短腕欠失	備考	凍結保存は避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
132	6807 1	N-myc 2p24増幅	備考	受託可能日は月～金曜日です。凍結保存は避けてください。 主な対象疾患は、 <u>神経芽細胞腫</u> です。	受託可能日は月～金曜日です。凍結保存は避けてください。	対象疾患について追記いたします。
132 (新規)	6412 6	del(19)長腕欠失	備考	凍結保存は避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。
132	6172 8	EWSR1 22q12転座	備考	受託可能日は月～金曜日です。凍結保存は避けてください。 主な対象疾患は、 <u>ユースティング肉腫、P-NET</u> です。	受託可能日は月～金曜日です。凍結保存は避けてください。	対象疾患について追記いたします。
136 (新規)	M017 3	WT1 mRNA定量	備考	凍結保存は避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)	凍結不可注記の追加。

# HBs抗体

本検査におきまして、現試薬の発売中止に伴い代替試薬に変更させていただきます。

併せて、検査方法、基準値、検査方法参考文献を変更させていただきます。基準値はメーカー設定値です。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0367 5	HBs抗体	検査方法	PHA	PA
		基準値 (単位)	8未満 (倍)	陰性(4未満) (倍)

## ▶ 現試薬と新試薬の比較

		(n=50)							
新試薬	(倍)	陰性 ( < 4 )	4	8	16	32	64	128	256
	256					3	3	1	
	128			1	5				
	64		2	6	1				
	32	2	3				1		
	16	3	3						
	8	6							
	< 8	10							
		現試薬							

		現試薬		計
		陽性(4倍以上)	陰性(4倍未満)	
新試薬	陽性(8倍以上)	34	6	40
	陰性(8倍未満)	0	10	10
計		34	16	50

### 新検査方法参考文献

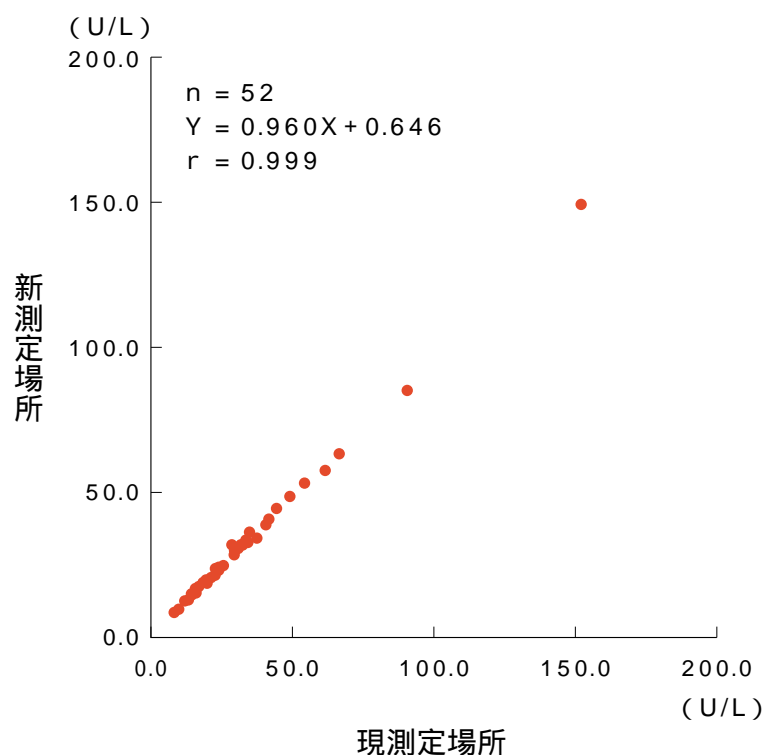
吉村 英里子, 他: 基礎と臨床29(17): 4545 ~ 4550, 1995.

## アデノシンデアミナーゼ( ADA )

本検査におきまして、測定場所を弊社エスアールエルMUQSラボラトリーに変更いたします。  
検査要項等の変更はございません。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0996 6	アデノシンデアミ ナーゼ( ADA )	測定場所	&ヨ( エスアールエル MUQSラボラトリー )	&I( ファルコ バイオシステムズ )

### 現測定場所と新測定場所の比較



#### 検査方法参考文献

佐野 史良, 他: 臨床検査機器・試薬9(4): 715~720, 1986.

## アルブミン( Alb )

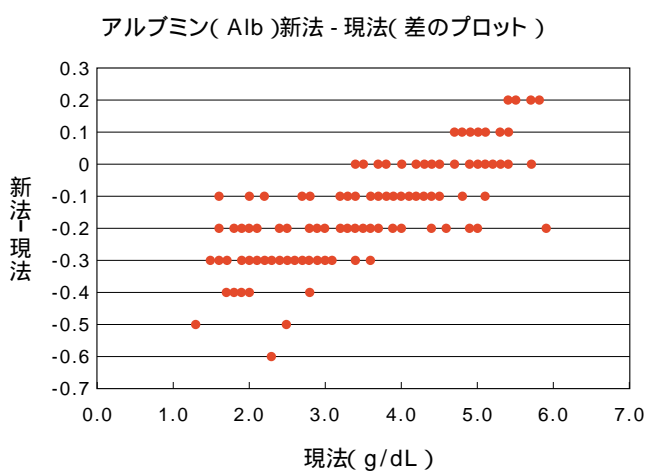
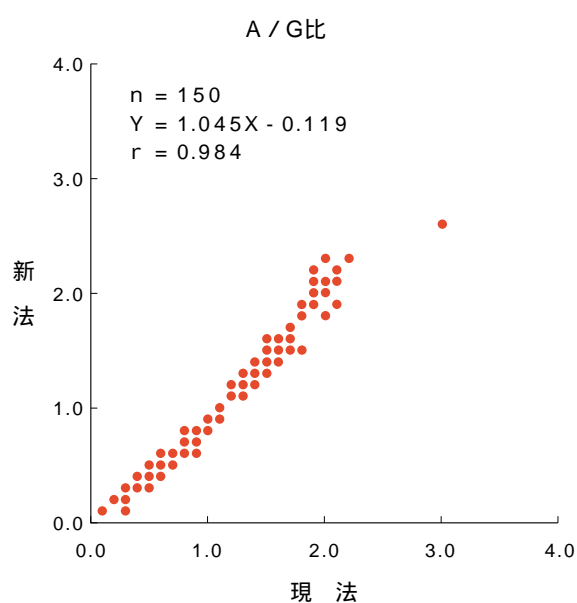
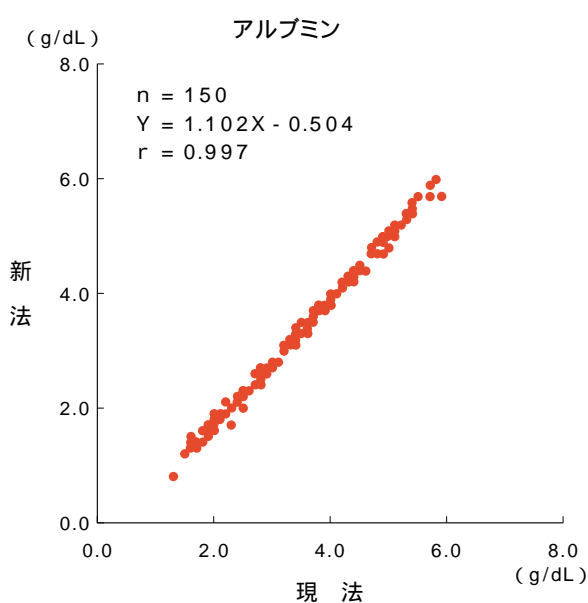
### A / G比

アルブミンにおきまして、ヒトアルブミンに特異性が高いBCP改良法に検査方法を変更させていただきます。BCP改良法は、グロブリンに反応するBCG法の問題点が改善されているため、低アルブミン検体ではBCG法よりも低値を示すデータ傾向があるとされております。(弊社における検討データを右記にお示しいたします。)併せて、基準値、備考を変更させていただきます。基準値は、文献値です。

また、アルブミンの変更に伴い、A/G比の検査方法表記および基準値を併せて変更させていただきます。

項目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
5059 2	アルブミン( Alb )	検査方法	BCP改良法	BCG法
		基準値	3.8 ~ 5.2 g/dL	4.0 ~ 5.0 g/dL
		備考	ヒトアルブミンと特異性の高い BCPと反応させる方法です。	なし
0382 0	A / G比	検査方法	BCP改良法/Biuret法	BCG法/Biuret法
		基準値	1.1 ~ 2.1	1.2 ~ 2.0

### 現法と新法の比較



### 新検査方法参考文献

佐々木 真弓, 他: 機器・試薬26(4): 335 ~ 338, 2003(アルブミン)

## 主な変更後の検査内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
0829 6 (4D020)	17-KGS	蓄尿 15	Y	冷蔵 (1ヵ月)	6~8	200 4	比色法	M 6.00~18.4 F 3.55~11.2 (mg/day)	
0830 6 (4D025)	17-KGS2分画	蓄尿 17	Y	冷蔵 (1ヵ月)	6~8	220 4	比色法	11-DEOXY-17KGS M 1.54~3.91 F 0.84~2.77 11-OXY-17KGS M 3.86~13.8 F 3.25~8.10 (mg/day)	<b>凍</b> 凍結保存は避けてください。  &C
6144 6 (4F080)	絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	血清 0.5	↓ X	冷蔵	2~4	150 4	CLEIA	2.7以下 (mIU/mL)	トータルHCGを測定しています。 抗体はHCG- を認識しています。 絨毛性疾患の診断、予後管理に有用 です。絨毛性疾患取り扱い規約第3 版における推奨方法で、測定感度は 1.0mIU/mLです。
5202 1 (4F080)	絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	血清 0.5 部分尿 1	↓ X Y	冷蔵 冷蔵	3~5		EIA	0.7以下 (mIU/mL)	本HCG-EIA検査はHCG 鎖を認識 するマウスモノクローナル抗体と、 HCG 鎖CTPを認識するマウスモノ クローナル抗体によるサンドイッチ法 により、インタクトHCGを測定してい ます。-CTPが欠損したHCGは測 定できません。
2332 6 (5F399)	インフルエンザウイルス RNA	咽頭 ぬぐい液 髄液 1.0	V r	冷蔵 (1ヵ月) <b>凍結</b> (3ヵ月)	7~11		RT-PCR	インフルエンザ ウイルスA型 陰性 インフルエンザ ウイルスB型 陰性	他項目との重複依頼は避けてくださ い。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに十 分ご注意ください。咽頭ぬぐい液は 凍結保存を避けてください。
0367 5 (5F016)	HBs抗体	血清 0.2	↓ X	冷蔵	2~4	32 5	PHA	8未満 (倍)	
6414 1	<b>倫理指針対象</b> ITPA遺伝子多型解析	血液 2.0 (EDTA-2Na)	C	冷蔵	4~8		インベーター プラス法		<b>重 凍</b> 本項目はITPA SNPである rs1127354を解析します。 他項目との重複依頼は避けてくださ い。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに十 分ご注意ください。 凍結保存は避けてください。  &C

4 : 生化学的検査 ( ) 判断料

5 : 免疫学的検査判断料



## 主な変更後の検査内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
6197 5 (6B615)	淋菌および クラミジア トラコマチス rRNA同時同定	分泌物	F2	冷蔵	2~5	300 6	TMA	陰性	<b>凍</b> 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。検体採取後、速やかに専用容器に移し、ご提出ください。採取方法を厳守をお願いします。採取方法を厳守していただかないと、特に分泌物は検体の粘性が高くなり、検査結果をご報告できなくなる場合があります。凍結保存は避けてください。
		部分尿 2		冷蔵 (1ヵ月)					
		咽頭 ぬぐい液		冷蔵					
2582 1 (5E021)	クラミジア トラコマチス DNA	部分尿 2	r	冷蔵 (4日)	2~4	210 6	PCR	陰性	<b>凍</b> 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から2時間以上経過後に初尿を採取してください。他項目との重複依頼は避けてください。ただし、淋菌DNA〔項目コードNo.2655 0〕とは重複依頼可能です。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。凍結保存は避けてください。
		分泌物	F1	冷蔵 (7日)					
0307 2 (5E021)	クラミジア トラコマチス rRNA	分泌物	W4	冷蔵 (7日)	2~4		液相(核酸) ハイブリダイ ゼーション	陰性	<b>凍</b> 検体採取方法は(総合検査案内)233ページをご参照ください。凍結保存は避けてください。
2655 0 (6B610)	淋菌DNA	分泌物	F1	冷蔵 (7日)	2~4	210 6	PCR	陰性	<b>凍</b> 男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から2時間以上経過後に初尿を採取してください。他項目との重複依頼は避けてください。ただし、クラミジアトラコマチスDNA〔項目コードNo.2582 1〕とは重複依頼可能です。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。凍結保存は避けてください。
		部分尿 2	r	冷蔵 (4日)					
0308 0 (6B610)	淋菌rRNA	分泌物	W4	冷蔵 (7日)	2~4	210 6	液相(核酸) ハイブリダイ ゼーション	陰性	<b>凍</b> 検体採取方法は(総合検査案内)233ページをご参照ください。凍結保存は避けてください。

6：微生物学的検査判断料

## 主な変更後の検査内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
2887 8 (5E068)	便中ヘリコバクター ピロリ抗原	糞便 (専用スティック1本)	d7	冷蔵	2~4	150 5	ELISA	陰性	<b>凍</b> 必ず専用容器で採取してご提出ください。 凍結保存は避けてください。
0347 4 (5H180)	不規則性抗体(抗体同定・抗体価測定)	<b>速やかに遠心</b> 血清 5.0 と 血液 2.0 (EDTA-2Na加)	(血清) ↓ X と (血液) C	(血清) 冷蔵 と (血液) 室温	3~5	170 5	カラム凝集法 〔クームス法、 酵素法(フィ シン法)〕		<b>凍</b> * )血清と血液(EDTA-2Na加)をペアでご提出ください。血清につきましては、血液を採血後、速やかに分離してください。依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。 &ヨ
0344 2 (5H030)	血液型不適合妊娠	<b>速やかに遠心</b> 血清 4.0 と 血液 2.0 (EDTA-2Na加)	(血清) ↓ X と (血液) C	(血清) 冷蔵 と (血液) 室温	3~5		2-メルカプト エタノール法		<b>凍</b> * )血清と血液(EDTA-2Na加)をペアでご提出ください。血清につきましては、血液を採血後、速やかに分離してください。依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。年齢・輸血歴・疾患名を明記してください。また、妊婦・ベビー・移植のいずれかを明記してください。 &ヨ
2495 4 (5C134)	尿中 型コラーゲン	部分尿 5	Y7	冷蔵 (1ヵ月)	3~9	210 1	EIA	30~39歳 4.0以下 40歳以上 4.9以下 ( $\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$ )	<b>凍</b> 早朝一番尿をご提出ください。凍結保存および他項目との重複依頼は避けてください。なお、随時尿による参考基準値(健常人)は $7.3\mu\text{g/g}\cdot\text{CRE}$ 以下と報告されています。 凍結保存は避けてください。
5059 2 (3A015)	アルブミン(Alb)	血清 0.3	↓ X	冷蔵 (21日)	2~4	11 3	BCP改良法	3.8~5.2 (g/dL)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCPと反応させる方法です。 &ヨ
0382 0 (3A016)	A/G比	血清 0.3	↓ X	冷蔵 (1ヵ月)	2~4		BCP改良法 /Biuret法	1.1~2.1	&ヨ
0996 6 (3B130)	アデノシンデアミナーゼ (ADA)	血清 0.6	↓ X	冷蔵	2~4	32 3	酵素法	5.0~20.0 (U/L)	&ヨ
0407 6 (3C020)	尿酸(UA)	血清 0.5	↓ X	冷蔵 (28日)	2~4	11 3	酵素法 (ウリカーゼ POD法)	M 3.7~7.0 F 2.5~7.0 (mg/dL)	高尿酸血症:7.0mg/dL超(高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン(日本痛風・核酸代謝学会)2002年) 蓄尿は依頼項目ごとに単独の検体をご提出ください。蓄尿は凍結保存を避けてください。
		蓄尿 5	Y	冷蔵		11 3		0.4~1.2 (g/day)	

1 : 尿・糞便等検査判断料  
3 : 生化学的検査( )判断料  
5 : 免疫学的検査判断料

## 主な変更後の検査内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
0284 1 (3F180)	アポリポ蛋白 A-	血清 0.3	↓ X	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	3項目 以上測定 した場合 95 3	免疫比濁法	M 119 ~ 155 F 126 ~ 165 (mg/dL)	アポリポ蛋白 Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。
0285 8 (3F185)	アポリポ蛋白 A-							M 25.9 ~ 35.7 F 24.6 ~ 33.3 (mg/dL)	
0287 2 (3F190)	アポリポ蛋白 B							M 73 ~ 109 F 66 ~ 101 (mg/dL)	<b>凍</b> 凍結保存は避けてください。
0288 0 (3F195)	アポリポ蛋白 C-							M 1.8 ~ 4.6 F 1.5 ~ 3.8 (mg/dL)	アポリポ蛋白 Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。
0245 6 (3F200)	アポリポ蛋白 C-							M 5.8 ~ 10.0 F 5.4 ~ 9.0 (mg/dL)	
0290 7 (3F205)	アポリポ蛋白 E	M 2.7 ~ 4.3 F 2.8 ~ 4.6 (mg/dL)							
0408 3 (3H030)	<b>緊急</b> Ca(カルシウム)	血清 0.5	↓ X	冷蔵 (28日)	2~4	11 3	アルセナゾ 法	8.5 ~ 10.2 (mg/dL)	<b>重</b> (蓄尿) 依頼項目ごとに単独の検体 をご提出ください。蓄尿は凍結保存 を避けてください。  &ヨ
		蓄尿 5	Y	冷蔵				11 3	
0419 6 (3H025)	Mg(マグネシウム)	血清 0.5	↓ X	冷蔵 (1ヵ月)	2~4	11 3	キシリジルブ ルー法	1.8 ~ 2.6 (mg/dL)	<b>重</b> (蓄尿) 依頼項目ごとに単独の検体 をご提出ください。蓄尿は凍結保存 を避けてください。  &ヨ
		蓄尿 5	Y	冷蔵				11 3	
0970 1 (3K105)	アルミニウム(AI)	血清 1.0	e	冷蔵	3~5	130 3	原子吸光分析 法	10以下 (μg/L)	<b>凍</b> e容器は凍結保存を避けてください。

3 : 生化学的検査 ( ) 判断料

## 主な変更後の検査内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
6410 1 (8B356)	●曜日指定 EGR1 del(5)長腕欠失	骨髄液 1.0	H	冷蔵	7~10		FISH		凍 受託可能日は月~金曜日です。 凍結保存は避けてください。 &コ
		血液 5.0 (ヘパリン加)	G	冷蔵					
6411 9 (8B316)	●曜日指定 del(1)短腕欠失	組織 5×5×5mm	H	冷蔵	7~10		FISH		凍 受託可能日は月~金曜日です。対象 疾患は、脳腫瘍・神経芽細胞腫です。 凍結保存は避けてください。 &コ
6807 1 (8B324)	●曜日指定 N-myc 2p24増幅	組織 5×5×5mm	H	冷蔵	7~10	2600 + 400 2	FISH		凍 受託可能日は月~金曜日です。主な 対象疾患は、神経芽細胞腫です。 凍結保存は避けてください。 &コ
		骨髄液 1.0							
6412 6 (8B493)	●曜日指定 del(19)長腕欠失	組織 5×5×5mm	H	冷蔵	7~10		FISH		凍 受託可能日は月~金曜日です。対象 疾患は、脳腫瘍です。 凍結保存は避けてください。 &コ
6172 8 (8B524)	●曜日指定 EWSR1 22q12転座	組織 5×5×5mm	H	冷蔵	7~10		FISH		凍 受託可能日は月~金曜日です。主な 対象疾患は、ユーイング肉腫、P- NETです。 凍結保存は避けてください。 &コ
		骨髄液 1.0							
M017 3 (8C505)	●曜日指定 WT1 mRNA定量	血液 7.0 (EDTA-2Na)	A	冷蔵	4~6	2000 2	RT-PCR (リアルタイム (コピー/μgRNA) PCR)		重凍 受託可能日は月~金曜日です。検体 採取後、速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてくださ い。 本検査方法ではコンタミネーション の影響がより大きくなりますので、 検体採取にあたっては取り扱いに十 分ご注意ください。 凍結保存は避けてください。 &コ
	骨髄液 1.0	H	冷蔵						

2：血液学的検査判断料

### 染色体検査と関連する疾患

項目コードNo.	検査項目	主な対象疾患	主な用途
6411 9	del(1)短腕欠失	脳腫瘍	治療感受性
		神経芽細胞腫	予後推定
6807 1	N-myc 2p24増幅	神経芽細胞腫	予後推定
6412 6	del(19)長腕欠失	脳腫瘍	治療感受性
6172 8	EWSR1 22q12転座	ユーイング肉腫 P-NET	